

第二講

〈助動詞のポイント〉

(1) 〔活用〕 する

(2) 〔意味〕 がある

(3) 〔 〕 (その助動詞の直前が何形か) が決まっている

★助動詞「き」

(1) 活用

き	未然形
	連用形
	終止形
	連体形
	已然形
	命令形

(2) 意味… 〔 〕 (直接経験)

(3) 接続… 〔 〕 形

★助動詞「けり」

(1) 活用

けり	未然形
けら	連用形
○	終止形
けり	連体形
ける	已然形
けれ	命令形
○	

(2) 意味… ① 〔 〕 (間接経験)

② 〔 〕 【訳】

※ 〔 〕 中の「けり」は②の意味になる

例) 逢ひ見てののちの心にくらぶれば昔はものを思はざりけり

(3) 接続… 〔 〕 形

例題

次の傍線部のうち一つだけ文法的用法の異なるものがある。それを選べ。

- (1) 貧しければするわざもなかりけり。
- (2) 財宝はなけれどもさすがに空倉はあまたありけり。
- (3) この児、あはれ食はばや食はばやと思ひけるに、
- (4) 思はむ子を法師になしたらむこそ心ぐるしけれ。
- (5) ふるさとなりにし平城の都にも色はかはらず花は咲きけり